

## 迎春

### ●主な活動の記録 (10月～12月)

10月10日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

この朝、台風による大雨警報が発せられ、時折激しく降る雨の中に関わらず、6名が参加。18日高取で県主催のイベント”山もり・てんこ森”でのクラフト指導の材料の準備や、器具の手入れ、情報館近くで風により倒れた木々の処理等を行い、昼前に流れ解散。

この日、最長老のクラブ員内山さん(93才)より退会の申し出があった。驚異的な体力の持ち主で、昨年までは毎年アルプス登山も楽しまれていたが、今年はコロナもあり断念された由。さすが寄る年波と。いつまでもお元気で。



内山さんを囲んで

10月18日(日) 「山もり・てんこ森」 クラフト指導 県高取森林技術センター

県主催のイベント、昨年と同じ会場で開催され、7名が参加。

コロナの影響で例年のボーイ・ガールスカウト等のグループでの参加が無く、加えて前日雨のため中止となった小学校の運動会が、この日に繰り延べ開催されたところもあり、例年一般参加者500人前後が来場するところ、200人にも満たなかった模様。

参加12団体は、早くから各テントで準備。開始の10時過ぎても訪れる人は疎ら。当クラブは、ジージーゼミづくりを主に、その他ガリガリトンボ、モクマルくんを準備。コロナ対策としては指導に当たり、仕切り版を立て、支給されたフェイスシールド着用、都度テーブル・用具等をアルコール消毒し、万全を期した。最終60人近くが当テントを訪れた。

いつもより子供が子供の数がすくなく大人が目立った。



==会場風景==

チエンソーアートの実演

10月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

コロナウイルスで行動の自粛、マスク着用を求めながらも、今年も矢田山に”紅葉の秋”はやって

きた。とはいえ、今日の参加者は10名と”マキ割り体験”希望の1家族4名（小児2）を加えた少数精鋭？の構成。これもコロナのせいなのだろうか。

この日は午前中”みんなの森”から頂上へ通じる遊歩道・植栽地の草刈りを行った。遊歩道は夏草で覆われ、道の見分けもつかない状態だったが、刈払機4台で開通させた。直後マウンテンバイクの青年が気持ちよさそうに通過、間に合ってよかった。

この間、マキ割り体験を小野理事が指導。

今年は”秋の味覚”柿の実りが、極度に不良で数えるほどしか実っていなかった。

午後には、炭焼き小屋周りの整備を実施。

カブトムシの幼虫とんだ災難に一長フェンス際に積んであった朽ちた炭焼き材、ブルーシートを撤去、朽木の下からカブトムシの幼虫が大量に出てきた。容器に腐葉土を入れ詰みている。炭焼き小屋の周りがすっきりした。

機器の手入れをし、事故もなく楽しく本日の活動を終えた。



整備前の遊歩道



参加者



整備後の炭焼き小屋前



マキ割り体験

#### 11月14日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

ポカポカと暖かいこの日、17名が参加。

県環境政策課きれいプロジェクト推進係2名の来訪があり。推進されているプロジェクトの説明を受けた後、当クラブの活動状況・現状の問題点等をつぶさに説明。朝会に入ってもらい、本日午前中の活動「緑の募金」公募事業”モミジ谷整備作業要領の説明を受け、現地へ移動。モミジはかなり色づいていた。実生のモミジを残しての、下草刈り、灌木・枯損木の除伐等を見学頂いた。その後、場所を芝生広場奥に移動し、昨春平成天皇退位を記念して実施した植樹地”平成の森”に次いで、シイタケ銀行、薪小屋、管理道脇のナラ枯れの現状を見ていただいた。

午後の活動は、主として器具の整備にあたった。

なお、同推進係が進めておられる”四季の庭”では、当地矢田山遊びの森も、既に指定を頂いており、これのPRのためのステッカーを頂いた。

当該きれいプロジェクトでは、すでに各種団体50余りとも意見交換済みとのこと。



事業案内板



== 整備作業風景 ==



#### 11月28日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

寒い朝にかかわらず14名が参加。朝会で、前回の活動状況を視察を兼ねて、来訪のあった県きれいプロジェクト推進係との模様が報告され、合わせて同プロジェクトプロモーションのための花木の植栽の勧めを受け、「平成の森」で来春実施すべく樹種の選定を含め検討することとした。併せて、次回定例での定例総会実施、ついで近大教授による講演の案内があった。



FV連より、来春3月21～22日に天川村で実施予定のリーダー研修の下準備として、25日有志5名により25日に植栽地整備を行った旨の報告あった。

本日午前中の活動は、野鳥の森下草刈り整備。

午後は、ホダ木の採取。大きな倒木の枝から30本近くを集める。途中枯損木の処理を合わせ行う。ホダ木は来春の植菌作業に向けて、シイタケ銀行に搬入。



==整備作業==



ホダ木の集材



集材を終えて

<特記> =ドングリ、奈良公園の鹿へ=

長年、恒例となったドングリを集めて、鹿の餌として奈良鹿愛護会へ。今年は、殊の外一般の方々の多大なご協力を頂き、過去に例を見ない優に100kgを超える大量が集まり、3度に分けて同会へ搬入。大いに感謝されました。

折しも、12月1日夕刻のNHKニュースで、始まったばかりの”飛火野”での鹿寄せで、ホルンの音で勢いよく集まった多くの鹿達が、まかれたドングリを、実に美味しそうに食べている映像が流されました。

重ねて、ご協力頂きました方々に、厚く御礼を申し上げます。

12月12日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本日予定されていた総会は、コロナ下の蜜回避のため、書類審議に変更する旨の報告あり。本日手渡しもしくは郵送の議案書の賛否を同封の用紙で、今月26日までに提出することとなった。参加者は15名。

午前中は、「緑の募金」公募事業、モミジ谷の環境整備。実生モミジの養生、杭の打ち込みや、枯損木の処理、ホダ木の採集等を実施。この間、女性は総会資料作り。

午後、予め椅子作り用に玉切りしておいた材の皮むきや、ホダ木の銀行への搬入作業。

序で、「緑の募金」公募事業の一環である”環境教育”として、近畿大学松本教授を講師に招き、”地球温暖化と森林”と題して、下記の要点で講演を頂いた。

- ・森林・林業・木材の役割
- ・京都議定書での森林吸収源
- ・森林・林業・木材分野での温暖化対策

同教授は、以前京都議定書作成に関わられたこともあり、特に詳しい説明があった。

講演は、予定の一時間をオーバーし、最後に質問を受けられ約一時間半に及んだ。



実生モミジの養生



枯損木の除伐



皮むき作業



講演会風景

12月26日(土) 納の会 矢田山遊びの森

参加者 18 名。朝会の冒頭、理事長より、先に実施の総会に代わる書面審議、会員 28 名の内、25 名が、4 議案共に全員の賛成で、可決されたとの報告があった。

本日の活動は、片づけ・整備が中心。倉庫の整理、器具の整備、炭窯周辺のかたづけと、予め処理しておいた枯損木を薪用に回収と手分けして実施。

昼には、女性により用意頂いたチョット早めの年越しそばを食す。今回はコロナを考慮しカップ麺で。並べられた数種から、それぞれ好きなものを選んで、付き合わせの焼いたネギ・安納芋とゆで卵を共に味わった。

最後に、本年はコロナで活動が何かと制約を受けたが、来年収まれば十分活動を楽しめるよう、体に気を付けて年越しをとの締め挨拶が理事長よりあって終了。お互いに”良いお年を”との声を交わし散開。



倉庫の整理



炭窯周辺の整理



ネギ・芋を焼く



絞めの挨拶

